



◆「映像表現の今、そして未来」-The Future of Advanced technology and Digital Image- 映像表現にフォーカスをあてたセミナーを開催した。

第31回目を迎える東京国際映画祭は、2018年11月1日(水) 13:00～14:30、六本木ヒルズアカデミーヒルズ49階タワーホールA & Bで有料セミナーとして(入場料: ¥1,500・税込)映像表現にフォーカスをあてたセミナーを開催した。

多彩な表現を実現する為に進化を続ける最先端の映像技術。様々な映像デバイスの普及による視聴環境の広がり。想像を超えるような映像体験は、この先どこへ向かうのか。

3DCG、4K・8K、リアルタイムレンダリング技術など、新たな映像表現を探求し続けるクリエイター4人が様々な表現やテクノロジーの進化について語り合う対談形式のセミナーで行われた。

登壇は、安生健一氏(株式会社オー・エル・エム・デジタル技術顧問/SIGGRAPH Asia 2018カンファレンスチェア)。塩田周三氏(株式会社ポリゴン・ピクチュアズ代表取締役)。柴田周平氏(NHKチーフプロデューサー)。越野創太氏(ソニーPCL株式会社ディレクター)

にモデレーターの沼倉有人氏(CGWORLD編集長)が加わり進行された。来場者には、「CGWORLD Entry 東京国際映画祭特別版」が配布された

ゲストの紹介

安生健一氏 株式会社オー・エル・エム・デジタル技術顧問/SIGGRAPH Asia 2018カンファレンスチェア。「SIGGRAPH Asia 2018」ではカンファレンスチェアを務め、映像制作における「使える」技術開発の為、国内外の研究者・技術者とコラボレーションし、また、研究発表などの対外活動も活発に行なっている。

塩田周三氏 株式会社ポリゴン・ピクチュアズ代表取締役。SIGGRAPH Asia 2018コンピュータアニメーションフェスティバルチェア 2003年にポリゴン・ピクチュアズ代表取締役に就任、

海外有力企業からのプロジェクト受託など新しいビジネスを切り拓いてきた。また現在は経営陣と共に、日本の2Dアニメの特長を活かした新世代のCG表現でも注目を浴びている。スタジオはエミー賞を初め数々の国際的なアワードにも輝く。

柴田周平氏 NHKチーフプロデューサー 各界の一流の人物に密着した「プロフェッショナル仕事の流儀」や、「クローズアップ現代」など、20年以上に渡り数多くのドキュメンタリー番組の制作を手がける。2003年にディレクターとして制作した「にんげんドキュメント・ただ一撃にかける」では、文化庁芸術祭優秀賞を受賞した。近年は古代文明に焦点をあてた「NHKスペシャル・謎の古代ピラミッド」や、人類の進化を高精細CGで描いた「NHKスペシャル・人類誕生」などを制作・プロデュースしている。

越野創太氏 ソニーPCL株式会社ディレクター 3Dや4Kなど先端技術を活用した映像制作に多数携わる。2015年、自ら4Kカメラを携えジェット戦闘機に乗り、成層圏からの地球を撮影したドキュメンタリー作「BLUE HORIZON」(WOWOW)を制作。ルミエール・ジャパン・アワード2017 4KHDR部門審査員特別賞を受賞した。2017年には、世界最大の洞窟に挑む「THE GREAT BELOW」(WOWOW)を制作、「NHKスペシャル人類誕生」ではライブアクションディレクターを担当した。視聴した人が未知なる風景を疑似体験できることを目指し、8KHDRなど最新鋭の映像技術を用いたコンテンツ制作を行っている。

モデレーター 沼倉有人氏 CGWORLD編集長 トーメン(現、豊田通商)にて、エネルギープラントなどのインフラ営業に携わった後、一念発起して映像業界へ。東北新社のオフライン・エディターとして、CMやVPの編集を手掛ける。2005年10月よりCGWORLD編集部に加わり、2012年7月より現職。

[主催] 東京国際映画祭事務局

[共催] ソニーPCL株式会社

[企画協力] 株式会社Luminous Productions

[特別協力] 日本放送協会、株式会社オー・エル・エム・デジタル、株式会社ポリゴン・ピクチュアズ、ソニービジネスソリューション株式会社、ソニービジュアルプロダクツ株式会社、CGWORLD、デジタルハリウッド株式会社





第31回東京国際映画祭は、11月3日に閉幕したが、11月2日にクロージングセレモニーが開催され、受賞作品・受賞者が以下のように発表された。The 31st Tokyo International Film Festival Award Winners

	受賞作品/受賞者 (WINNER)	対象作品 (FILM)	備考 (NOTES)
東京グランプリ/東京都知事賞 Tokyo Grand Prix / The Governor of Tokyo Award	『アマンダ(原題)』 "Amanda"	—	賞金 \$50,000
審査委員特別賞 Special Jury Prize	『氷の季節』 "Before the Frost"	—	賞金 \$20,000
最優秀監督賞 Award for Best Director	エドアルド・デ・アンジェリス Eduardo De Angelis	『随ちた希望』 "The Vice of Hope"	賞金 \$5,000
最優秀女優賞 Award for Best Actress	ピーナ・トゥルコ Pina Turco	『随ちた希望』 "The Vice of Hope"	賞金 \$5,000
最優秀男優賞 Award for Best Actor	イエスパー・クリステンセン Jesper Christensen	『氷の季節』 "Before the Frost"	賞金 \$5,000
最優秀芸術貢献賞 Award for Best Artistic Contribution	『ホワイト・Crow(原題)』 "The White Crow"		賞金 \$5,000
最優秀脚本賞 Presented by WOWOW Best Screenplay Award by WOWOW	『アマンダ(原題)』 "Amanda"	—	賞金 \$5,000
観客賞 Audience Award	『半世界』 "Another World"	—	賞金 \$10,000
アジアの未来 作品賞 Asian Future Best Film Award	『はじめての別れ』 "A First Farewell"	—	賞金 \$10,000
国際交流基金アジアセンター特別賞 The Spirit of Asia Award by the Japan Foundation Asia Center	ホアン・ホアン Huang Huang	『武術の孤児』 "Wushu Orphan"	-
日本映画スプラッシュ 作品賞 Japanese Cinema Splash Best Film Award	『鈴木家の嘘』 "Lying to Mom"	—	賞金 ¥1,000,000
日本映画スプラッシュ 監督賞 Japanese Cinema Splash Best Director Award	武正晴 Masaharu Take	『銃』 "The Gun"	賞金 ¥500,000
	田中征爾 Seiji Tanaka	『メランコリック』 "Melancholic"	
東京ジェムストーン賞 Tokyo Gemstone Award	木竜麻生、リエン・ビン・ファット、カレル・トレムブレイ、村上虹郎 Mai Kiryu, Lien Binh Phat, Karelle Tremblay, Nijiro Murakami		-

◆一般社団法人 日本オーディオ協会：「映画を聴こうプロジェクト 2018」スタートの案内をした。「聴きたい映画 総選挙」で盛りだくさんの商品が抽選でもらえる

一般社団法人 日本オーディオ協会（小川 理子 会長）は、昨年に引き続き「映画を聴こうプロジェクト 2018」を 12 月 3 日（月）～2019 年 1 月 31 日（木）にかけて Web で展開するとしている。

今年は 4K・8K の本放送本放送が 12 月より始まることにより 4K・8K 大画面テレビが一斉に国内投入されています。そして 2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年のオリンピック・オリンピック・パラリンピックの開催 などビッグイベントが集中する中、日本オーディオ協会はこの機会を逃すことなく映像、オーディオ機器の質的向上とさらなる拡大を求めて、国内大手テレビメーカ及びオーディオ専門メーカ、国内外のコンテンツ企業等 16 社・団体の参加・参加・協力を仰ぎ「映画を聴こうプロジェクトプロジェクト 2018」を開催するとしている。

<企画骨子>

映画を「綺麗に見る」だけではなく、「良い音で聴こう」のコンセプトで誰でも手軽に感動を楽しめることを基本に「おうち映画館」の導入を紹介している。特に「高技術サウンドバー」や「ウェアブルスピーカー」の導入など誰もが簡単に「おうち映画館」を開設できる環境が整ってきた。映画は大好きだけど家で試視聴するには設置や操作が難しいなどと避けている若い女性層をターゲットに興味を持ってもらうために「聴きたい映画総選挙」を実施し認知向上を図っている。抽選でグランプリコンテンツが貰え、さらに参加企業の勧める商品が抽選で当たる「ダブルチャンス」等、楽しさ満載の企画とした。また、連動企画として「オーディオ 4 ブランド+1 コラボ キャンペーン」(<https://eigakiko.comhttps/cp2018>)も全国規模で開催するとしている。全体の開催概要は以下を参照。

名称：「映画を聴こうプロジェクト 2018」

期間：2018 年 12 月 3 日（月）～2019 年 1 月 31 日（木）

展開：全国展開特設 Web サイト<<https://eigakiko.com>>

特設 Web サイト仮オープン（総選挙応募は不可）：11 月 30 日（金）15：00

JAS サイト<<https://www.jas-audio.or.jp/>>も上記同様日時でリンク可能。

主催：一般社団法人日本オーディオ協会 映画を聴こうプロジェクト実行委員会

参加企業：オンキヨー&パイオニア株式会社、シャープ株式会社、ソニーマーケティング株式会社、株式会社ディーアンドエムホールディングス、パナソニック株式会社、ハーマンインターナショナル株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社ビデオマーケット

協力企業：Dolby Japan 株式会社、dts ジャパン株式会社、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社、NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社、20 世紀 フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン株式会社、株式会社ポニーキャニオン、ワーナーブラザーズジャパン合同会社

団体：DEG ジャパン（以上 16 社・団体カテゴリー別アイウエオ順）

期間中の問い合わせ先：映画を聴こうプロジェクト実行委員会

(info@eigakiko.com)

事務局受付期間：2018 年 12 月 3 日（月）～2019 年 2 月 7 日（木）

※土日祝、及び 2018 年 12 月 28 日（金）～2019 年 1 月 4 日（金）を除く

【問合せ先】一般社団法人日本オーディオ協会

事務局：森・土橋・校條

東京都港区高輪 3-4-1 偕成ビル 4F

TEL：03-3448-1206 / FAX：03-3448-1207

E-mail：jas@jas-audio.or.jp

◆一般社団法人日本オーディオ協会：「ハイレゾオーディオロゴ」の新カテゴリーとして「ハイレゾオーディオワイヤレスロゴ」を新設し、2018 年 11 月 28 日よりライセンス開始！！

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 小川理子）は、ワイヤレス接続で音楽をリスニングするスマートホン、ワイヤレススピーカーやワイヤレスヘッドホンなどの普及を考慮し、現在ライセンス中の「ハイレゾオーディオロゴ」の新カテゴリーとして「ハイレゾオーディオワイヤレスロゴ」を新設し、2018 年 11 月 28 日よりライセンスを開始すると発表した。

これまで、96kHz/24bit 以上の非圧縮 / 可逆圧縮のオーディオ信号を伝送することを基本としていた「ハイレゾオーディオロゴ」に対し、「ハイレゾオーディオワイヤレスロゴ」は、この信号を伝送する帯域を持たないワイヤレス接続において、圧縮したオーディオ信号を伝送する機器の中でも、ハイレゾオーディオとして十分な音質を持つ商品を示すものとして、ライセンスするもの。ワイヤレス接続を用いた様々な商品に対して、高音質を示すためのロゴとして、広く運用されることを期待している。

ハイレゾオーディオワイヤレスロゴの概要

ライセンス開始日：2018 年 11 月 28 日

ライセンス対象：ハイレゾオーディオ信号を伝送できないワイヤレス接続に対して、協会が認証した

「オーディオ コーデック」を用いた商品であり、ワイヤレス接続部分以外は「ハイレゾオーディオロゴ」の技術規定を満足している商品ライセンス許諾先：「ハイレゾオーディオロゴ」のライセンス許諾を受けている法人。

ワイヤレス接続にて伝送される圧縮オーディオ信号の音質を規定するために、使用する「オーディオコーデック」に対する技術規定を定めた。「オーディオコーデック」は当協会が認証する。ワイヤレス接続と有線接続の双方を使用できる商品においては、「ハイレゾオーディオロゴ」に加えて、「ハイレゾオーディオワイヤレスロゴ」を使用することができる。

この件に関する問合せ先：一般社団法人日本オーディオ協会
事務局：照井、中林 照井、中林 照井、中林
東京都港区高輪 3-4-13 第二高輪偕成ビル 4F
TEL:03-3448-1206 / FAX:03-3448-1207
E-mail:jas@jas-audio.or.jp



◆シャープ：走行する蒸気機関車「SL大樹」を8Kカムコーダーで撮影し、車内に設置した8K液晶テレビへ伝送 第5世代移動体通信方式（5G）による高精細8K映像のライブ伝送に成功

シャープは、株式会社NTTドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉澤和弘、以下、ドコモ）および東武鉄道株式会社（本社：東京都墨田区、取締役社長：根津 嘉澄、以下、東武鉄道）と連携し、第5世代移動体通信方式（以下、5G）により8Kの高精細映像をライブ伝送する実証試験^{※1}に成功した。

本実証試験は、11月12日（月）および16日（金）に、栃木県日光市にて東武鉄道が運行する蒸気機関車「SL大樹」を使用して行った^{※2}。走行する「SL大樹」を当社製8Kカムコー

ダー<8C-B60A>で撮影し、映像を線路脇に設置した基地局から5G無線で送信。SL車内に設置した当社製8K対応液晶テレビ<8T-C60AW1>へライブ伝送した。基地局を3局配置した28GHz帯と1局配置した4.5GHz帯の二通りの周波数帯で試験を実施し、いずれも成功した。また、28GHz帯の試験では、走行位置により接続する基地局が切り替わっても、8K映像が途切れずに表示されることも確認した。

移動環境における大容量の8K映像データの5Gによるライブ伝送が実証されたことで、観光分野などでの新たなサービスへの応用が期待できる。シャープは、5Gを活用した8K映像伝送の実用化に向けて、今後も様々な実証試験を推進して行くとのこと。

実施日	2018年11月12日（月）および16日（金）
場所	栃木県日光市 東部鬼怒川線 新高徳駅付近 鬼怒川にかかる橋梁上
使用周波数	28GHz帯／4.5GHz帯
配信プロトコル	HLS(HTTP Live Streaming)
使用機器 (当社製品)	8Kカムコーダー<8C-B60A> 8K対応液晶テレビ<8T-C60AW1> * その他、8K映像エンコーダー、デコーダーなどを当社より提供



<走行列車での試験風景（線路脇での撮影）>

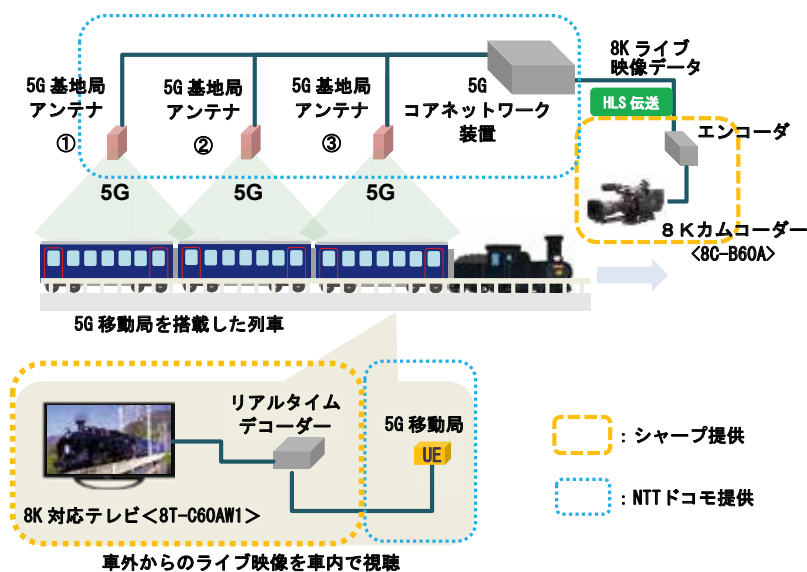


<走行列車での試験風景（車内での8K映像表示）>

※1 本実証試験は、NTTドコモが実施主体として総務省より受託した、平成30年度5G総合実証試験「屋外において平均4～8Gbpsの超高速通信を可能とする第5世代移動通信システムの技術的条件等に関する調査検討の請負」の一部として実施しました。

※2 11月16日（金）の実証試験は、SL車両のメンテナンスにより、ディーゼル機関車が客車を牽引する「DL大樹」にて実施しました。

■ 実証試験構成イメージ（28GHz帯の場合）



本試験に関する画像は、WEB サイトから <http://www.sharp.co.jp/press/>

◆パナソニック（コネクティッドソリューションズ社） Thunderbolt(TM)3 対応 小型軽量ポータブル SSD を発売

品名：ポータブル SSD

品番：RP-SBD1TBP3、RP-SBD512P3

ストレージ容量*1：1 TB、512 GB

本体希望小売価格：オープン

発売日：12月19日

月産台数：合計 2,000 台

パナソニック株式会社は、Thunderbolt(TM)3 *2 対応の外付けポータブル SSD (1 TB、512 GB) を 12 月 19 日より発売すると発表した。本製品は、同社が昨年より発売している USB3.1 (Gen1) 対応のポータブル SSD (2017 年 2 月発売：RP-SUD128P3、RP-SUD256P3、6 月発売、RP-SUD512P3) に続くラインアップ追加。大容量 & 高速転送のストレージ需要が拡大。またパソコンも Thunderbolt(TM)3 *2 搭載モデルも拡大する中、同社は Thunderbolt(TM)3 への対応により、読み出し最大 1500 MB/秒、書き込み最大 1000 MB/秒*3 の高速データ転送を実現。USB3.1 (Gen1) 対応の同社従来品より約 4 倍読み出し速度が速く大容量のデータもストレスなく扱うことができるとしている。

また、幅 102 ミリ×奥行 48 ミリ×高さ 14.4 ミリの小型・薄型なデザインで、しかも約 90 グラムの軽量であるためポケットやカバンに入れて手軽に持ち運ぶことが可能。加えて、アルミダイキャスト製法による筐体は、振動や衝撃に対する耐性を強化し万が一机の上から落下してもデータが破損するリスクを抑える（本体の 76cm 落下試験*4 を実施）と共に、放熱性を高めファンレスを実現し静音 & 通気口がないスタイリッシュな外観を実現している。

パナソニックは、SSD ならではの高速転送で、しかも軽量でありながら衝撃に強い本製品を、手軽にデータを持ち運べて、モバイル PC との親和性の高いポータブル SSD として訴求していくとしている。

<主な特長>

1. Thunderbolt(TM)3 対応による高速データ転送
2. 衝撃に強いアルミダイキャスト製
3. 優れた放熱設計によりファンレスを実現

*1 容量は、1 TB = 1,000,000,000,000 バイト、1 GB = 1,000,000,000 バイト。容量の一部は、フォーマットおよびその他の機能に使用されるためすべての容量をデータ保存のために使用することはできない。

*2 Thunderbolt(TM)3 インターフェース搭載パソコンにて使用することができる。

*3 同社の試験結果に基づいている。実際の読み出し、書き込み速度は使用する機器、ファイルサイズ等の条件により異なる。

*4 同社技術実験室にて、76 cm の単独落下試験（非通電時）を実施。破損しないことを保証するものではない。

【問い合わせ先】

P3 カスタマーサポートセンター

電話 0570-550-633 (受付時間：10:00～12:00、12:45～17:00 <土・日・祝日は除く>)

◆ケンコープロフェッショナルイメージング：MISONICS mini10-D の販売開始

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング（代表取締役社長：山中徹）は MISONICS mini10 シリーズの新製品として、小型 LED ライト「mini10-D」の受注を 2018 年 12 月 1 日より開始する。



mini10-D (バンドア付)、



mini10-D 背面

■製品特徴

オンカメラ使用に最適な軽くてスリムな小型 LED ライトです。Mini10-D は外部電源入力専用モデルで、既発売のバッテリー式 mini10 とバッテリー/外部入力兼用 mini10-A と合わせて 3 タイプがそろいました。バッテリーをなくしたことでさらに軽量モデルとなっている。また、mini10、mini10-A よりも 150%明るくなっている（最大出力は 15W、60cm で 1610 lux）。外部電源入力は 7-24V に対応、D タップケーブル、バンドアを付属する。色温度は 2700～7200K と幅広い調整が可能。演色性は 95 以上。照射角は 110° 以上。

ハウジングには AL60 系列のアノダイジングアルミニウム合金を採用し、172g と軽量に仕上がっているほか、部品密度を高く設計し、わずか 14mm と薄くなっています。

■製品名・JAN コード・価格（税別）

Mini10-D 4962420470060 49,000 円

■mini10-D の主な仕様

入力電源：7-24V 外部入力、最大出力：15W、色温度：2700-7200K (±150K) 照度：1610 lux (60cm)、560 lux (1m)、Delta UV：±0.004

CRI：95 以上（平均 97）、照射角：110°

調光範囲：0-100%、調節方式：ダイヤル方式、フリッカー：フリッカーフリー角度調節：ボールヘッド、付属品：ディフューザー、バンドア

ハウジング材質：AL60 系列、アルミニウム合金（アノダイジング処理）冷却方式：クーリングファンなし/無騒音

重量：172g、サイズ：164 (W) x80 (H) x14 (D) mm

■受注開始：2018 年 12 月 1 日

問い合わせ先：株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング

〒164-0001 東京都中野区中野 5-68-10 KT 中野ビル 3F

TEL 03-6840-3622 / FAX 03-6840-3861

URL：http://www.kenko-pi.co.jp